

[2025年5月14日 中東とその先]
トランプはイスラエルを裏切ったのか？

<https://youtu.be/QCCxAMHhis>



B: 皆さん、シャローム。中東とその先へようこそ。太陽が降り注ぐ美しい南カリフォルニアからバリー・スタグナーです。そして、親愛なる友であり兄弟のアミール・ツアルファティが下ガリラヤ地方の美しいイズレエル渓谷から一緒です。シャローム、アミール。

A: シャローム、バリー牧師。ここガリラヤではもう夕方です。とても長い一日でした。たくさんの速報や興味深い

出来事が、トランプ大統領が、湾岸諸国で 2 番目の訪問地に到着する中、起こっています。ええ、顔が見れて嬉しいです。

B: 顔が見れて嬉しいよ。アミール、今日は私たちにとって、記念すべき日です。振り返ってみると、グレゴリオ暦の 1948 年 5 月 14 日、突如、預言の暦が前進し始め、イスラエルが...イザヤが預言し、問いかけています。「国は一瞬にして生まれようか。」そして確かに、その日、イスラエルが誕生し、民が、ユダヤ人の祖国に再び集められています。しかし、この重大な預言的出来事に誰もが興奮しているわけではありません。私たちは今日、77 周年を記念していますが、この日を「大惨事の日」と呼ぶ人たちもいます。それで「ナクバの日」について、その起源と今日の中東における意味を説明してください。

A: はい。ありがとうございます。そうです、ナクバは、すでにおっしゃったように、アラビア語で大惨事を意味します。そして、バリー牧師、とても興味深いのは、1948 年のイスラエル建国にまつわるその言葉の起源と用語は、ベイルートにあるアメリカの大学、ベイルート大学の教授から来ているのです。彼の名前はコンスタンティン・ズレイク博士。コンスタンティン・ズレイク氏は、アメリカの大学で教鞭をとっていたシリア人歴史家で、1948 年に出版された「the Meaning of the Disaster (災害の意味)」という本の中で、彼が実際に告げていることを見てください。彼は言いました。「パレスチ

ナにおけるアラブ人の敗北は、小さな敗北、ナクサ、ではなく、これはあらゆる意味での大惨事、ナクバである。」そして、信じられないかもしれないが、彼はこう言いました。「アラブ諸国7カ国が、パレスチナのシオニズムに宣戦布告した。分割案を撤廃し、シオニズムを打倒するために、7カ国が戦争を起こした。」言い換えると、彼は基本的に、こう言っているのです。国連の分割計画を阻止するために7つのアラブ諸国がこの土地に侵攻した。そして彼は言います。「…そして彼らは、パレスチナの土地の多くと、分割案でアラブ人に与えられた部分さえも失った後、すぐに戦いから撤退した。」言い換えれば、彼らはユダヤ人の土地を奪おうとして、結局、アラブ人の土地も失った、ということ。そして彼は言いました。「…戦争が始まったとき、私たちの公共外交は、想像上の勝利について語り始め、アラブの人々を眠らせて、ナクバが起こるまで、克服し簡単に勝利できる能力について語った。」彼はまた、戦争の結果を説明するためにシオニストとアラブ人を区別しました。そして、彼の発言を見てください。「シオニズムは西洋の生活に深く根付いているが、我々はそこから遠く離れている。彼らが現在を生き、未来を見据えている間、我々は麻薬に溺れ、素晴らしい過去を夢見ている。」そして、最後に彼はこう締めくくりました。「我々は我々の過ち、アラブの過ちを認めなければならない。そして、我々が被った災難に対する責任の大きさを認識する必要がある。」つまり、これでさえ、ナクバの話全体が偽りだったのです。1948年、既にそれが彼らの責任であって、彼らが侵略したのだから、彼らが責任を取るべきだ、と理解されていました。ユダヤ人の土地に入り、征服するために、彼らが、地元のアラブ人に立ち去るように求めたのです。しかし彼らは、自分たちの土地とユダヤ人の土地を失い、そして、そこを去った地元のアラブ人全員を、彼らの国々に残したまま、戦争を止めなければなりませんでした。その「民族浄化」を、彼らは、私たちのせいにはしていますが、当時パレスチナと呼ばれていた地域の、地元のアラブ人に対して、実際にそれをしたのはアラブ諸国だったのです。そして、1948年、彼がその言葉を作り出し、その出来事に結びつけたとき、彼らはその責任を認めたのです。しかし、すべてが変わり、彼らは歴史を書き換えています。そして、ヤセル・アラファトは、自分たちの苦しみを表現する方法として、今こそ、この言葉を使うのに適切だと判断し、それを変更して、国際的に認知される日にしたのです。国連でも世界中でも、そして、信じられないかもしれませんが、今日、テルアビブ大学でさえ、アラブの学生たちが、それを記念しています。なぜなら、我々は民主主義国家ですから、私たちは言論の自由を認め、自国でそのようなゴミを許容しています。

B: ええ、アミール、あの侵略を思い出すと、国家宣言された日に起こったというのが、興味深いですね。今日では、このナクバのような種類の考えに賛同する人が大勢いて、それは、中東に限ったことではありません。オーストラリアがこの大惨事の追悼式に参加する予定であることが分かっています。しかし、皆さんに思い出してもらいたい興味深いことの一つは、イスラエルが、これらの国々から攻撃を受けた時、航空機をほとんど持っておらず、小さな兵器だけでした。それなのに、勝利を収めたのです。そして今日、教会内の多くの人々が、残念なことに、現代のイスラエルは、聖書に書かれているイスラエルではない、と言っています。しかし、言っておきますが、私の中で、最も重要な証拠の一つは、イスラエルが国家を宣言した運命の日、そして、その後の日々が起こったことと、その背後にあるあらゆる戦いに関して、明らかに、イスラエルを厳格に守っているのは、アイアンドームではなく、神の鉄の御手が、神の民を守って来たのです。そして、神はその任務において、決して眠ることも休むこともありません。

私たちにとって、聖書の預言が成就するのを目の当たりにした、素晴らしい日ですが、77年経った今でも、それは変わりません。

アミール、あなたは冒頭で、トランプ氏が訪問中だと言いましたね。私が思うに、これを政治訪問と呼ぶのは、ためらわれます。これは、本当にビジネス訪問です。彼は、不動産王としてやるように、取引を交わしています。しかし、特に、彼が訪問した国々で起こっていることはすべて、非常に興味深く、ちょっとした啓示であるかもしれません。第一コリント 2:14 は「**生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。**」と告げています。そして、彼は、懸念される行動をいくつか取っているように思われます。そこで、今日その問題について、話してください。

A: ええ。トランプ大統領が取った、いくつかの行動に対する私のこの衝撃と失望を、あなたにも視聴者にも隠すつもりはありません。ただ、お伝えしておきますが、彼の最悪の日であっても、カマラの最高の日よりも、私は彼の方を選びます。これは非常に明確にしておかねばなりません。これは、これまでのホワイトハウス政権の中で、最もイスラエルに対して友好的な政権です。しかし、それに加えて、私たちは物事をあるがままに指摘し、隠さないようにしなければなりません。私は、どの政治家に対しても忠誠心は持っておらず、間違ったことを見つけたら、それを指摘します。私は、隠したりはしません。そして私が思うに、トランプ大統領は、この訪問の準備の最初から、イスラエルが眉

をひそめるような発言や行動をしてきて、そしてアメリカでも、信じられないかもしれませんが、多くの人が心配しています。それは、彼が、フーシ派との停戦合意をフーシ派と結んでいたことを、我々には隠したところからはじまりました。と言っても、トランプ大統領が、事前に私たちに何かを伝える必要はありません。しかし、メディアからではなく、彼から直接聞きたかったです。我々は彼らの同盟国であり、我々は、フーシ派から攻撃を受けているのです。トランプ氏が基本的に言ったのは、「我々に限って言えば、フーシ派はイスラエルに向けて発射しても良い。彼らが、我々や商船に発射しなければ、我々は構わない。我々はどちらの側にも立つつもりはない。」ちなみに、フーシ派は、3000万ドルのアメリカ製無人機、MQ9をもう1機撃墜させたばかりです。彼らは昨夜、それを撃墜しました。きっと、それについては、目をつぶるしかないのでしょうか。しかし、よく考えてみると、おそらく、それによって私たちは解放されると言えます。今後、イスラエルは、物事に対処する際に、アメリカと調整する必要がありません。イエメンの領空には、我々の飛行機しか残されていませんから。数日前に我々がしたことと、数時間後に私たちがしようとしていることについて、お話ししましょう。以上が、フーシ派に関することでした。

そしてもちろん、サウジアラビアに原子力発電所の保有を許可する、という噂が広まりました。ほら、隣国が核兵器を持つようになるなら、我々がそれを知っておくのは良いことです。そして、私たちが反対する理由は、もちろん、私たちの隣人は、必ずしも常に約束を忠実に守るわけではない、という事実からです。彼らは、今は善人であっても、明日は私たちに敵対するかもしれません。ですから、中東の核開発競争は望みません。

そして最後に起こったことは、もちろんカタールの件です。始まりは、彼が4億ドルのボーイング747-800ジェット機を受け取ったことです。基本的に、空飛ぶ宮殿です。そして、トランプ大統領がそのような飛行機で飛ぶことに私は問題ありません。外聞は、ひどいと思いますが。しかし、一国が4億ドル相当のプライベートジェットを贈ると、おそらく、他のものよりも、そちらに対して好意的になるでしょう。さて、彼らと取引をするのとは別の話です。…ちなみに、カタールは、彼らからボーイングからジェット機170機を購入する契約を締結しました。2000億ドルの取引です。それは良いことです。理解できます。アメリカでは働き手が必要ですし、経済が必要です。アメリカへの投資が必

要です。しかし、覚えておいてください、一国から贈り物を受け取るのは、良い印象を与えません。さらに、それにより、人々は疑問を抱きます。あなたは純粋な決断が下せるのか、それによって最良目が入るのではないか。トランプは、カタールで自分のビジネスを行っていることを忘れてはいけません。そして今や、彼はカタールから贈り物を受け取っています。だから、イスラエル国民は思っています。もし、その同じ国、2017年には「実際にテロを助長する国だ」とトランプが言った国、その同じ国が、数億ドルの資金をもって彼の考えを変えているなら、それは良いとは思えません、違いますか？彼は、他の者たちにどんなメッセージを送っているか？

そしてもちろん、今日はアル・ジュラーニとの会合がありました。前回、アメリカ大統領がシリア大統領と会談してから25年が経っています。これは、選挙で選ばれた大統領ですらなく、彼はISISの上着を脱いでスーツをまとった、ISISのテロリストです。4か月前まで、彼には賞金がかけていたのです。1000万ドルの賞金です。この男は、ハヤト・タハリール・アル・シャム、多くの人々の首を切り落とし、殺害し、虐殺したISIS組織のトップだったのです。何か恐ろしいことをしない限り、1000万ドルの賞金をかけることはありません。さて、トランプは言っています。「私たちは過去に生きることはできず、常に過去の行いに対して人を責めてはいけません。」彼は正しく、過去に生きることはできません。しかし、アル・ジュラーニは、自身の手下が、アラウィー派を殺害、虐殺し、そして、1、2週間前には、ドゥルーズ派を殺害、虐殺することを許したのです。それは過去ではなく、現在です。彼はキリスト教徒に対しても同じことをしました。彼はクルド人に対しても同じことをするでしょう。だから私は、取引の背後にある論理が、本当に理解できません。トルコやカタールのようなジハード主義国家やムスリム同胞団の圧力を受けて、アル・ジュラーニを世界の指導者として受け入れる。しかし、バリー牧師、もう一度言いますが、私は、論理を探さないことにしました。さっき、あなたが聖書を引用したとおり、私たちは、トランプがやっていること、すべてを、聖書的に意味を成すと見る必要はないと思います。彼は牧師ではないし、霊的な人でもなく、彼は、神の御霊に導かれて物事を行うことをしません。これはビジネス訪問です。彼には、アメリカを再び偉大にする壮大な計画があるのです。唯一の疑問は、イスラエルは、4億ドルのプライベートジェットの下、犠牲になるのだろうか？それが問題です。

B: 私たちは妄想の時代に生きています、アミール。聖書にもあるように、大患難の前に始まり、そして最終的に、地上に生きる者たちが反キリストの嘘を信じる大患難時代に頂点に達するのだと思います。しかし、現在、反キリストの台頭に向けて、いわゆる、拍車がかかっており、そして、彼は、興味深い発言をしています。「フーシ派がイスラエルを攻撃しても、我々は干渉するつもりはない。」あの発言が、本当に何を意図していたのかは、誰にも分かりません。「我々は、イスラエルに報復しないよう促すつもりはない」という意味なのか、あるいは、「我々は、外野で自分たちの利益だけを考える」という意味かも知れません。だから、本当に難しい時期です。そして、あなたが今言ったとおり、私たちクリスチャンは、認識することが非常に重要です。私たちは話の結末を知っている、私たちは書の裏表紙を読んでいる、私たちは、エゼキエル戦争のシナリオで、サウジアラビアがどうなるのか知っている。これらすべてが、私たちにとって明らかです。ですから、私たちは、肉に従って生き、世界で起こっていることを理解していない人たちよりも、明らかに有利です。

アミール、ガザは常にニュースにのぼっています。ここ 1 週間ほどで、かなり興味深い展開がありましたね。いくつかの排除も含め、それについて、教えてください。

A: はい、昨日の排除から始めましょう。今からちょうど 24 時間前、イスラエルはベイルートでハッサン・ナスララに対して行ったのと同様に、イスラエルは、いわゆる「ベルト・オブ・ファイアー」で攻撃しました。ベルト・オブ・ファイアーとは、ターゲットの輪郭がだいたいわかっているときです。そして、私たちが何をしたか見てください。ご覧の通り、ここはガザです。では、攻撃が起こった、ハン・ユーニスのヨーロッパ病院の敷地内にズームインしてみましょう。ちなみに、彼らの病院の数は、イスラエルよりも多いです。そして私たちは、ヤヒヤ・シンワルの兄弟、モハメッド・シンワルがいたと考えられる、この地下施設を発見しました。彼だけでなく、ハマスの伝説的スポークスマンであるアブ・オバイダもそこにいたと、私たちは考えています。そして 1 時間前には、ラファ旅団の指揮官であるモハメド・シャバナも、そこに居た兆候を得ています。つまり、我々が注目しているモハメド・シンワールは、おそらく最も恐ろしい人物で、この男は、10 月 7 日の首謀者でした。彼は兄のヤヒヤ・シンワールよりも邪悪でした。しかし、彼は消えたようです。そして、彼と共に、他の者たちも。しかしその 24 時間前、私たちはハッサン・アスリという男を排除しています。ハッサン・アスリは、アルジャジーラの記者だったとされていますが、しかし、彼は実際にはハン・ユーニス旅団

のテロリストでした。バリー牧師、彼が10月7日に自分の携帯電話で実際に撮影したビデオを、私は持っています。ガザ近郊のキブツで起きた、虐殺のビデオです。その中で彼は、それを実行した者たちを称賛し、喜んでいます。私が持っているビデオでは、自宅のリビングルームの床で家族全員が撃殺されていて、彼が、それを撮影しながらハマスを称賛しているのです。私が持っているビデオでは、彼が、10月7日にガザから盗まれた車の1台を運転しながら、我々は、これを入植者から奪ったと言っています。また、彼がキブツでイスラエル人女性を強姦した者達の一員であったこともわかっています。そのために彼は、自分の携帯電話を他の者に預けたのです。なぜなら彼は、録画されることなく、ただ、性行為を楽しみたかったから。しかし、我々が捕らえたヌクバのテロリストの中に、目撃者がいたのです。つまり、この男はテロリストであり、強姦犯であり、そして…ちなみに、これは、ガザの記者、あるいはジャーナリストたちの話であって、彼らは全員、ハマ스에雇われてプロパガンダを広めているテロリストです。ですから、彼は殺害されました。彼は、テレグラムに約80万人のフォロワーがいます。彼が最初に殺害され、その後、同じ病院の敷地内で、モハメド・シンワールとその仲間全員が殺害されました。ですから今は、戦争を終わらせるための合意に達することが、より容易になるでしょう。なぜなら、モハメド・シンワールが、諦めないことを主張していた張本人でしたから。

さて、バリー牧師、人々は理解する必要があります。選択肢は、二つしかありません。これらのオプションを、人々は見なければなりません。選択肢は、ウィトコフのアウトラインを受け入れるか、あるいは、我々の「ギデオンの戦車作戦」を受け入れるか。ウィトコフの取引は非常にシンプルです。生きている人質10人と、死亡した人質の半数を、今すぐ解放し、そして45日間、最終合意に達する方法について話し合う。しかし、お前たちが武装解除して撤退しない限り、我々はまだ戦争を終わらせるつもりはない。これがウィトコフのアウトラインで、ハマスは永久に拒否しています。そこで、イスラエルは言いました。金曜日までにその取引に同意するか、さもなければ…我々が計画している内容を見てください。「ギデオンの戦車」とは、この作戦で、今週の金曜日に、我々はそれを始めます。ご覧ください。私たちは、南部の人道支援地域を対処し、そして、関係のない住民は全員、ガザ地区北部から、はるかずっと人道支援地域へ、検問とゲートを通して移動します。そこで、彼らが武装し

ておらず、関与していないことを確かめるのです。そしてガザには、テロリストだけ残ります。そこで我々はガザを占領し、破壊します。

よく聞いてください。私が「ガザを破壊する」と言う時、私たちは地下にあるもの、地面の下にあるもの、すべてを破壊します。そして同時に、人道支援地域にいる人々が、すでに退去し始めていることを確認します。今日、民間人が避難し始めました。今日、600人のガザ人が6機の飛行機に搭乗し、UAEや、ヨーロッパとトルコへ発ちました。彼らの多くは、実際、二重国籍ではありません。つまり、彼らはこの自発的な移住の一部です。バリー牧師、金曜日までにハマスは、ウィトコフの概要に同意しなければなりません。さもなくば、我々が全勢力を持って全面的に取り組み、ハマスにとっては、致命的です。そのため、彼らはエダン・アレクサンダー氏を解放したのです。あれは、トランプの力だけだと思いますか？もし、何百もの戦車が今、ガザに向かっているのを彼らが見ていなかったら、彼らは決して「はい」とは言わなかったでしょう。しかし、彼らは、アメリカ国籍を所持するイスラエル国防軍兵士、エダン・アレクサンダー氏を釈放しました。彼らは彼を釈放、これです。彼は釈放され、感謝なことに、彼の体調は良好です。彼の母親は、彼に会えて、とても興奮していました。すべてが素晴らしい。私たちは、本当に喜んでいます。すべてが素晴らしい。しかし、誤解しないでください。ハマスがこれを行った理由が、2つあります。彼らは、イスラエルとアメリカの間に亀裂を生じさせたかったのです。そして彼らは、自分たちを終わらせるであろう、差し迫る、この壊滅的な作戦を一時的に止めたかったのです。つまり、彼らは、トランプはもっと寛大になって、そしてその見返りに、イスラエルに前進の計画を中止するよう圧力をかけるだろうと考えたのです。しかし現実には、トランプは言いました。「金曜日に私が去るまで、彼らがイエスと言わないなら、さあ、何でも必要なことをやりなさい。」ですから、これが検討されている選択肢です。そして金曜日までに、ハマスが何を決断するかがわかるでしょう。

さて、今現在、ドーハで話し合いが行われ、大きな圧力がかかっています。今、イスラエル代表団とハマス、そして仲介者が集まり、彼らはウィトコフのアウトラインを変更したいと考えています。彼らは、戦争を終わらせない概要には、コミットしたくないのです。ちょうど1時間前にアラブ諸国が提案した、新しい取り組みがあります。最後の2つの段落に達するまでは、すべてが良く見えます。しかし、最後の2つの段落には、パレスチナ自治政府がガザを統治する、とあります。そんなことは

絶対に起こりません。彼らは同じジハード主義者であり、我々を滅ぼそうとしている者たちです。そして最後の段落は、ハマスの警察官がガザを守る部隊に統合される。それは起こりません。ですから、他のすべては素晴らしいです。しかし、パレスチナ自治政府は統治できず、そしてハマスのメンバーは、もはや、ガザのいかなる支配勢力にも組み込まれることはありません。以上です。バリー牧師、ここ数時間で多くのことが起こっています。もちろんガザでも、現在、非常に重要な審議の真っ最中です。

B: ええ、アミール、昔から言われているとおり、パレスチナ人は機会を逃す機会を決して逃しません。だから、次に何が来るかは分かっていると思います。「ギデオンの戦車」です。

そして、先ほど、あなたが話した内容ですが、大統領の声明について触れました。フーシ派には介入しない、あるいは、彼らからイスラエル領内に向けられることには関与しない、という米国大統領の声明。先週お話ししましたが、ベングリオン空港の近くで攻撃があり、他にも、イエメンの港湾都市でいくつかの動きが起こっています。それについて、5月5日と6日に何が起こったか、少しお話しいただけますか。

A: ええ。5月5日と5月6日に、イスラエルはイエメンを2度訪れました。もちろん、最初の攻撃はフダイダとラス・イサの港への攻撃で、しかし、翌日の二度目の攻撃では、サナアの空港を完全に破壊しました。空港はこんな感じでした。さて、彼らは明日、あるいは、もしかしたら今日にも空港を再開すると主張しています。もちろんそれはプロパガンダです。我々は滑走路を破壊し、ターミナルビルも全て破壊しました。そこで彼らが活動できるはずがありません。彼らが、それができるかもしれない、と声をあげたとしても、我々は、そこにある物は全て破壊しましたから、しばらく時間がかかるでしょう。

しかし、さらにお伝えすると、イスラエルは、2日前にもう一度、イエメンにある3つの主要港から非難するよう、警告を発しています。そしてイスラエルは、今朝も、その警告を再度発しました。覚えておいてください、過去24時間以内に、フーシ派がミサイルを発射し、そのうち2機は途中で崩壊し、1機は迎撃されました。しかし、彼らは止めていません、バリー牧師。それがイスラエルに圧力をかける最善の方法だと、彼らは信じているのです。彼らは、自分たちがベン・グリオン空港を封鎖したと、認識させたいのです。しかし現実には、彼らの港が封鎖され、彼らの空港はもう存在しません。

ですから、イスラエルは追って通知があるまで避難するよう、命令を発令しました。つまり、我々はいつでも攻撃することができ、それを事前に知ることはできない。すでに我々は、避難勧告を出しており、追って通知があるまで、と告げていますから。そのため、すべての船が停泊場所を去ったのです。ちなみに、今では、港を破壊するのが簡単になりました。今までは、外国の船が停泊していたので、港の全ての地域を攻撃することは、できませんでした。外国に対して、それはできません。それで、私たちは全員が退去したことを確認し、今や、仕事を確実に完了します。それは、数時間以内に起こると私は信じています。イスラエルは、それに対処しなければならないでしょう。いいですか、我々は、トランプ氏がこの地域にいる間に、彼に恥をかかせたくはありません。しかし、言っておきますが、フーシ派はロケット弾を発射していて、そのうちの 2 発は、彼がサウジアラビア滞在中に、実際にサウジアラビアに落下しました。イエメンからイスラエルまで、ロケットは、サウジアラビア上空を飛びます。つまり、フーシ派はトランプがそこにいることをあまり気にしていないのです。実際、彼らは、彼がサウジアラビアで演説している間にそれをやったのです。一方、イスラエルは、この地域にいるトランプ大統領に恥をかかせることに興味はありません。したがって、我々はイエメンでいくつかの重大な行動をとることを控えます。しかし、ガザでの任務は遂行します。そしてトランプが去れば、ハマスもイエメン人もそのことを知るだろうと私は信じています。

B: ええ。皆さんを励ましたいと思います。ご存知の通り、聖書の預言には盛衰があります。一時的に事態がエスカレートし、そして、しばらく落ち着くように見えるかもしれません。しかし、時がくれば、すべてが前進し、ダニエル書の第 70 週の成就に向かって進みます。そして、私たちはその時期にかなり近づいていると思います。そのため、私たちの両方のチャンネルに登録、いいね、シェア、コメントをすることがさらに重要になります。そうすれば、実際に起こっていることを広く知らせることができるのです。そして、残念なことに、誤った情報がたくさんあるのです。イスラエル国家に関しては、リベラルなメディアだけではなく、教会内でも同様です。ですから、これらの話は、教会が瞬く間に取り去られる瞬間に向かって進むにつれて、日々ますます重要になっていきます。そしてそのとき、不法の者が現れ、ダニエル書の第 70 週が成就するにつれ、イスラエルは世界情勢の中心になります。ですからどうか、この番組に登録、いいね、シェア、コメントしてください。

アミール、あなたの北部国境は、ヒズボラとそのトンネル網で起こっていることのため、いつも騒がしいですが、最近の出来事は注目に値すると思います。そこで何が起こっているのか、最新情報を教えていただけますか。

A: はい。5月8日、イスラエルは再び「ベルト・オブ・ファイアー」のような攻撃を開始しました。ベルト・オブ・ファイアーと言うのは、基本的に、トンネルの一方の端ともう一方の端を爆撃することです。そのため、その間に居る者は誰も、立ち去ることも逃げることもできません。そして、その間にあるすべてを破壊します。これを見てください。画面上にはっきり見えるとおり、バンカーバスターが一行に並んで落とされ、ナバティエ近郊のヒズボラの大規模地下施設を破壊しました。武器庫とシャフトを備えたトンネル複合施設を操作不能に陥らせ、少なくとも1人を殺害しました。しかし、繰り返しますが、これらは、ヒズボラがイスラエルに対する大規模な攻撃のために準備していたものです。ちなみに、ここ数日、私たちはバイクや車の運転手も攻撃しました。これらはすべて、ある場所から別の場所へと移動しながら活動しようとしていたヒズボラのテロリストたちです。イスラエルは、南レバノン、場合によってはそこからさらに遠くまで、再び拠点を構えようとする、ヒズボラのあらゆる試みを阻止するために、文字通り毎日24時間体制で働いています。そして良いことは、レバノン軍とレバノン政府は、それをやらなければならないことを、理解しています。彼らは、自分たちでそれをするつもりはなく、イスラエルは、彼らがそれを行うとは信用しません。だから、私たちがそれをやらなければなりません。しかし、レバノン政府からの抗議の声はそれほど聞こえてきません。誰もが理解しています。そして、今日と昨日のトランプの演説でさえ、彼はレバノン国民に対し、ヒズボラによる政府支配から抜け出し、より良い未来へと進むよう促しました。トランプ大統領の目的は、シリアとイスラエルの関係を正常化させることだと思えます。そしてそれは、レバノンとイスラエルの国交正常化への扉を開くことになるでしょう。ですから、彼らはイスラエルとの戦争ではなく、正常化について、さらにどんどん話しています。そのことから、日々苦しんでいるヒズボラの地位の低下を物語っています。次から次へと打撃が続き、彼らにはもはや反撃する力さえ残っていないのです。レバノンでも、今まさにそれが起こっています。

B: ええ、アミール、イスラエルにいる人々が気づいているかどうか分かりませんが、でもモサドと言うと、多くの人、少なくとも西洋文化圏の人たちは、「おおー」という感じになると思います。モサ

ドの長年にわたる彼らの功績の一部は、伝説的で大胆ですから。シリアでは非常に興味深い出来事が起こりました。今日は、そのことについてお話ししていただけますか。

A: はい。数日前の5月11日、イスラエル人ではないモサド工作員が…なぜなら、モサドはイスラエル国外からも人材を採用していますから、シリアにはモサド部隊が存在し、過去の戦争で行方不明になったイスラエル兵士の遺体を探すため、数年間活動しています。今回は1982年、43年前のことです。このことが、行方不明の兵士、拉致された兵士、その他に対するイスラエルの決意を物語っています。私たちは、生存者の帰還だけでなく、死者も戻ってくることを望んでいます。そして、40年以上前に殺害された人の遺体も取り戻したいのです。モサドには、その専門部門が存在します。1982年のスルタン・ヤコブの戦いは非常に血なまぐさい戦いで、その戦いでかなりの数の人が殺され、戦車の乗組員全員が捕虜になりました。兵士らは殺害されましたが、その遺体はシリア軍に持ち去られ、そのうちの一人の遺体は、2019年、ロシアによってイスラエルに返還されました。ネタニヤフ首相は、プーチンから遺骨を受け取りました。そしてもちろん、ツヴィ・フェルドマン氏の遺体が、40年後に回収されました。ある戦い、秘密作戦の砲火の下で、モサドの工作員はヤルムーク墓地にたどり着き、そして、数人の遺骨を回収します。そして、私たちは、その中の一人がダマスカスにいる私たちの仲間、エリ・コーヘン氏であることを願っています。しかし、繰り返しますが、これらは遺体です。私たちは、彼らをイスラエルに連れてきました。そして、兵士たちが彼らをイスラエル側に連れて来ると、死者に対して唱えるカディッシュの祈りを唱えました。これです。見えますね。

B: ええ、アミール、私たちの世界で起こっている他のいくつかのことについても話していましたが、ヨルダンとの関係は10月7日以来緊張しているようです。そして、そこから出てくる批判や言葉の中には、ガザ地区への援助の受け入れが制限されたことで、同地区に若干の緊張が生じている。それについて、最新情報を教えてください。

A: はい。ヨルダンについて話す前に、ご存知の通り、シリア大統領が今日、トランプ大統領と会談しました。そしてトランプ大統領は、アメリカがシリアに対して望む条件を概説しました。しかし、イスラエルには独自の条件があって、イスラエルは、ゴラン高原を保持し、イスラエルは少数民族、特にドゥルーズ派の面倒を見たいと考えています。そしてイスラエルは、ヘルモン山に留まることを望んでいます。したがって、これら3つのことが満たされない限り、シリアとの関係正常化は実現しな

いと思います。ヨルダンに関しては、あまりにも多くのフェイクニュースがあり、人々が知らない舞台裏が、あまりにもたくさんあって、非常に残念です。イスラエルの研究者ドロム・ペスキンは、数日前、興味深い発見をしました。彼は言いました。「見なさい、ヨルダンによるイスラエルに対する批判が高まっているのには、何かと関係している。10月7日以来、ヨルダンはイスラエルへの批判を強めており、特に、イスラエルが、最近ガザ地区への援助物資の流入を禁止したことで…」よく聞いてください。「...ヨルダンとイスラエルの関係に緊張が生じ、ヨルダンの経済に影響を及ぼした。経済に影響を及ぼした？その通り！独占的な援助へのアクセスと利益。イスラエルは、ヨルダンにガザへの援助物資を届ける独占的なアクセスを許可し、ヨルダンが救援物資のトラック1台につき2,200ドル、空中投下1回につき20万ドルから40万ドルという高額な料金を請求することを許可している。数百億ドルの利益を生み出す慈善団体を通じて、直接的な援助の寄付は限られている。ヨルダンは主に、ガザに対して、自ら大規模な援助を提供するのではなく、外国の組織や国からの援助の移転を促進し、危機を財政的に利用してきた。」今の話が分かりますか？私たちが話しているのは、ヨルダンが現在イスラエルを批判している主な理由は、彼らが莫大なお金を失っているという事実です。それがすべてです。バリー牧師、トラック1台あたり2,200ドル、空中投下は、1回あたり20万ドルから40万ドル。そして、ヨルダンだけができていたのです、分かりますか？しかもそれは、ヨルダンの援助でさえなく、ヨルダンは、ただ、仕事をしてお金を得るだけです。請負業者のようなもので、彼らはただそれを届けるだけです。そして今、私たちは人道援助の流入をすべて止め、ヨルダンは、多額のお金を失っているので不満です。彼らは、ガザ地区へ援助が入ることには、大して興味がありません。彼らは、それから利益を得ることに興味があるのです。非常に悲しいことです。

B: 本当に。アミール、私たちの番組の「その先」の部分に当たる、興味深い話がいくつかあります。そこで、私はいくつかのことを述べたいと思います。イエスはペテロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネに、主の来臨と世の終わりの兆候について尋ねられたとき、その中で、地震について言及されました。そして、かなり興味深い話が出て来たのです。アメリカで地震が差し迫っていることを、メシア到来の前兆として、ラビが警告しました。私は、これは興味深いと思いました。なぜなら、究極のラビであるイエスご自身が、地震について言及して、時代の終わりが近づいていることを示されました。そしてもちろん、兆候の一つは、その増加です。しかし、私たちが認識すべき重要なことの一つは、特に

ここカリフォルニアでは、地震についてよく話しますが、ここで、私たちは地震について、少々知っていて、誰もが、サンアンドレアス断層について語ります。しかし、太平洋岸北西部を走るカスケディア断層と呼ばれる、はるかに危険な断層があります。そして、それは沈み込み帯で、海岸沿いに標高の低下を引き起こし、多くの人口密集地域が浸水する可能性があります。ご存知の通り、サンアンドレアス断層はサンフランシスコから南カリフォルニアまで走っていて、非常に人口密度の低い地域を多く通過します。ですから、非常に重大なことが起こり、人命の損失の可能性は、はるかに少なくなるでしょう。しかし、このラビが目撃していたこの特定の研究の興味深い点は、カスケディア断層は、長年、巨大地震が起こると言われてきた場所で、おそらく、震度で9から10の間になるでしょう。そしてそれは、シアトルの真下を通るので、本質的に、壊滅的なものとなるでしょう。また、海岸沿いの氾濫原の拡大もあり、多大な財産と生命の損失も引き起こすでしょう。でも、アミール、私が面白いと思ったのは、ラビが、地震はメシアの到来の兆候だと考えている点です。

A: ええ、すごいです。もちろん、ユダヤ人にとって、再臨が初臨と混同されていることを私たちは知っています。ですから、彼らは、イエスが来て統治されるのを待っていて、彼らは、イザヤが言った、まず主が来て私たちの罪のために私たちの身代わりで死ななければならないことを忘れていました。ですから、イザヤ書 53 章はわきへ置かれ、そして彼らが握りしめているのは、イザヤ書の冒頭部分です。ですから、ええ、最近メシアの話が多いように思います。ところで、「私たちはメシアの時代に生きている」という言葉を、最近よく耳にします。そして、私たちが今見ているものが、聖書に匹敵するものであることを、誰もが理解しています。それは私たちには説明もできないことです。毎日、新しいドラマ、毎日、より大きな出来事があって、そして今世界で起こっていることは、すべて、3000% 聖書が告げていることに当てはまります。以前に誰かが言っていたことではなく、聖書が告げていることです。だから、人々が聖書に飛びついてこう言うのも当然です。「ほら、今はメシアの時代だ。」「今は、メシアの再来前の日々として例えられたのと同じ時代だ。」

B: ええ、神殿の丘でも最近興味深い活動が起こっていますね。活動家グループが、過越祭の犠牲に捧げるヤギを神殿の丘に持ち込もうとしました。もちろん、記事によると、イスラエル警察が9人の容疑者を逮捕しました。そして、彼らがこのような大胆な措置を取ったというのは、ある意味ではちょっとユニークです。人々は、ますます自分の立場を固めているように見え、イスラエル国家に関して、

これまでも話してきたとおり、分極化が世界中で起こっています。そして第三の神殿が建てられる時が来ます。それは確実にわかっています。ダニエルが、それについて語っています。言い換えれば、いけにえとささげ物とをやめさせ、荒らす忌むべき者が翼に現れるには、神殿が必要となり、ささげ物も必要です。そして、あなたが今、言ったように、メシアの時代に生きていて、という言葉には、この緊迫性と、利益があって、そして、犠牲に関しては、律法が要求しているところに戻ります。そして今や、あるグループが、ここ神殿の丘の信徒運動のように、ゲルシオン・サロモンは死ぬ前、礎石を据えようとし、それが原因で、数年前のあの時点で、17人が射殺されたと思います。しかし、このメシアの推進は、10月7日から実際に始まり、思考だけでなく行動にも浸透しつつあると思います。

A: はい、その通りです。しかし、私たちクリスチャンは、非常に賢明になり、私たちがここから出ていく前に起こるべきことと、私たちがここを出た後に起こるべきことを、見極めなければなりません。この2つを混同してはいけません。そして、神殿がエルサレムに建てられるというのは事実です。それは聖書に書いてあって、真実、実際に起こります。問題は、いつなのか？これはイスラエルが締結する、非常に大きな取引の一部となるということを、私たちは知っています。そして、イスラエルに神殿を建てる権利を与える取引をイスラエルが得るためには、イスラエルが優勢でなければなりません。そのためにはイスラエルが勝利し、イスラエルがイスラム教徒である敵に対して、圧倒的な勝利を収めなければなりません。なぜなら、これは、神殿の丘ですから、あなたと私がいつも教えているように、エゼキエル戦争が、イスラム過激派の崩壊をもたらすと、私たちは信じていて、おそらく、反キリストが現れて、神殿の建設も含む取引を持ちかける道を開くのでしょう。ですから、確かに、赤毛の雌牛がいると思っている人や、あるいは、ここでヤギを屠ろうとする人々がいます。しかし、これらは試みであって、それは起こりません。そして、私たちは覚えておかなければなりません。私たちは、反キリストに会うことはありません。私たちは、イエス・キリストを待っています。もしあなたが信者で、霊に満たされ、新生して、主が私たちを迎えに戻って来られるのを熱心に待っているなら、それが、私たちの希望です。そしてあなたが言ったように、私たちには、歴史の流れを変えることも、すでに定められた未来の進路も、変えることはできません。しかし、今日私たちが下す決断によって、そのようなことが起こったときに、私たちの居場所が変わるかも知れません。あなたが本

当に信者なら、あなたは、ここにはいないはずで。あなたが本当の信者でなければ、あなたは、ここにいることになりません。

B: アミール、今日はいろいろ話がありましたが、壊滅的な経済崩壊についての話をいつも聞いています。次の話で、その点を取り上げると、もう少し理解を深めるのに役立つと思います。私たちクリスチャンが期待すべきこと。そして番組全体を通じて言及してきたように、私たちは何が起こるかを知っているという明らかな利点があります。ある程度具体的に、詳細が聖書の年代順に展開してゆくことを、私たちは知っています。詳細の一部は、私たちには分からないかもしれません。しかし、私たちが認識すべき重要なことの一つは、イエスは、ダニエルの第 70 週の前の時代の類似性について語られた時、さまざまな出来事が起こっていたノアの時代のような、とおっしゃいました。人が心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾く。これは当てはまります。暴力が地球を満たしている、これも当てはまります。しかし、もう一つ認識しておくべきことは、ノアが箱舟に入った日まで、彼らは売買し、娶ったり嫁いだりしていた、これは、繁栄の時代を表しています。そして、ご存知の通り、パウロが話していたのは、破壊と、平和と安全の宣言です。興味深いことに、ギリシャ語ではこれらの単語は、繁栄や安心とも翻訳できます。ですから、教会時代の私たちが、壊滅的な世界経済崩壊を探すべきかどうか、分かりません。しかし、私たちが探すべきこととして、聖書が示唆しているのは、次の話で報告されていることだだと思います。中国とトランプ政権が関税を引き下げた後、ダウ平均株価が、1100 ポイント急騰、そして、ここでは市場が大きく上昇しました。ご存知の通り、ビットコインは復活しました。おそらく今日でも、1 コインあたり 105,000 ドルになると思います。他の暗号通貨も、上昇傾向にあり、状況は良いように見えます。そして、あちこちに出回っている記事の中には、黄金時代が始まったとまで告げているものもあります。これは、ダニエル書 70 週目の直前の日々について、聖書が告げていることに、より一致しています。つまり、繁栄の時代となり、人々は、基本的に、ノアの時代のように、差し迫った裁きの兆候を無視します。

A: ええ、だから私は、理解せずに、お金と取引だけに集中する視点を批判するのです。私は、イスラエルのことは心配していません。私が心配しているのは、イスラエルに敵対する立場をとる国々、特に、イスラエルを支持する権限を与えられた国々です。そのために、私は、トランプ大統領の行動を懸念するのです。そして、イスラエルを犠牲にするような彼の決定に対する私の懸念は、私がトラン

プに反対しているからではありません。前に言ったように、私は、カマラの最善の日よりも、彼の最悪の日の方を選びます。以前の政権と比べて、今の政権は素晴らしいと、私は今でも信じています。ただ、イスラエルに関して、彼にアドバイスできる適切な人々がいることを、ただ願うだけです。なぜなら、イスラエルは、ただの国ではないのです。単に距離を取るか、近づくかのどちらかの国ではありません。イスラエルは神の場所であり、神が、諸国を試す道です。そして、私は、アメリカはイスラエルを支持する権限を与えられたと思っています。エゼキエル戦争を見てみると、ロシアとイランとトルコがイスラエルに攻めてくる唯一の理由は、アメリカに、イスラエルを支持することができない、あるいは支持する意志がないからです。これは明白です。ですから、私が言いたいのは、注意を払ってください。これは単なる国ではありません。これは、あなたの国に影響を与え、あなたの国民に影響を与える、神に関することです。イスラエルに関して、話の結末を私は知っています。何が起こるか、よく分かっています。イスラエルに何が起こるか、あなたもご存じでしょう。しかし、私たちが心配しているのは、あの政権と、この決定の結果、そして、それがアメリカ国民と世界中の人々に、与える影響です。ですから、私が言いたいのは、周りがあなたを「分離主義者」…分離主義者ですね？

B: 分離主義者たち、はい。

A: そしてあなたが、イスラエルは問題であって解決策ではない、と言い、イスラエルを犠牲にする時、あなたは私たちに罰しているのではなく、自分自身を罰しているのです。あなたは私たちに裁きをもたらすのではなく、あなた自身に裁きをもたらすのです。このために、私はとても心配するのです。人々は、私にこんな風を書いてきます。「アミール、トランプに反対して、フォロワーを失うのが怖くないのか？」だから私は言うのです。私は、どの政治家に対しても忠誠心を持っていない、フォロワーのことなど、気にしていません。私が気にかけているのは、人々が信仰を持ち、正しい道を歩むことです。あなたもきっとそうだと思います。だから、私がこれほど苦しんでいるのは、最も親イスラエルのであると主張する政権が、物事のあるべき方向から、かけ離れた決定を下すのを目にしているからで、それを見て、心が痛むのです。私は話を知っていて、結末を知っています。私はまだアメリカを気にかけているし、この政権を気にかけています。そして私は、アメリカがイスラエルを決して裏切らないことを知り、そう思って投票した人々を、今でも気にかけています。

B: ええ。アミール、豊かさは貧困よりも、敵にとって、はるかに強力な武器だと言われています。貧困の時、人々は、神を呼び求め、神の助け、神の供給を祈ります。しかし、豊かさの中では、あなたが話している間、私はずっと考えていたのですが、まさにあなたが今、言ったように、ユダヤ人に対する扱いについて証した人物、つまり、ネブカドネザルです。彼は、神から与えられた祝福を振り返ります。神は、彼にこうおっしゃったのです。あなたはダニエル書 2 章に登場する、あの像の金の頭です。そしてこう言いました。「その後は、あなたほど偉大な王国は現れない。」それが、彼は、結局どこに行き着いたか?彼は自分の王国を見渡して、「私の手で築き上げたものを見ろ」と言い、そして彼は狂気に襲われ、そして、7年後に、ようやく正気を取り戻します。私たちはこれまで、聖書の預言に、米国が存在しないことに関して、たくさん話してきたことを考えてみると、黄金時代は、最悪の事態ではないかと思います。そのようなことが起こると、人々は本当に重要なことから気をそらされてしまう可能性があります。

A: ええ。私はここ数日、それを考えていたことを否定できません。私は、まさに、あなたが言ったことについて考えました。もしかしたら、罨は実は繁栄なのかもしれません。もしかしたら、罨は実際には分離主義者であるのかもしれません。おそらく罨は、イスラエルを犠牲にしてでもアメリカ第一主義を貫くことなのかも知れません。それは罨です。

そして、繰り返しますが、バリー牧師、私はあなたに、個人的なことをシェアしたいと思います。ここ数日、私がオンラインで見たり目撃したりしているもの、そして宣言、行動、決定に、私は、本当に具合が悪くなりました。あなたはご存知でしょう。私あなたにテキストメッセージを送りましたから。私は、体の具合が悪い。私は、それを見ると私は体調が悪くなります。なぜなら、私は大切に思っているからです。なぜなら、忠実なキリスト教徒が、そこに立ち、イスラエルを守る特定の名前、特定の政党に投票するのを見たのです。ジハード主義者や、ハマスが権力を維持するように、ハマ스에資金提供する者を満足させるのではなく、ムスリム同胞団を満足させるためではなく、彼らから戦利品や賄賂、贈り物を受け取るためでもありません。心が痛みます。ですから、私個人にとって、それが影響するのです。そして、繰り返しますが、先ほども言ったように、私は、以前の政権の1万倍、この政権を熱烈に支持しています。しかし、人々に理解して欲しいのです。聖書に関する事柄や、聖書の原則に関して、物事が間違った方向に進んでいるのを見て、私たちは、ここで立ち止まって黙っているつもりはありません。たとえ自分が支持した大統領であっても、私は彼らを非難します。何度

でも何度でも非難します。フォロワーを失っても、全く構いません。あなたも、フォロワーを失っても全く気にしないでしょ。私たちが人々に理解してもらいたいのは、イスラエルを傷つけることにつながる行為の重大さです。それだけです。それは重要です。とても重要です。

ちなみに、そのために、これは、デジタルバトルですから、だから私たちは人々にこう言うのです。「イスラエルを憎んでいる人は何億人もいます。ちなみに彼らはアメリカも憎んでいます。そして彼らは、インターネットを圧倒しています。」だからこそ、あなたの登録、いいね、シェア、コメントが必要なのです。なぜなら、私たちがこの戦いに勝つ唯一の方法は、アルゴリズムに、人々の関わりがあることを認識させることだからです。そうすれば、当然のことながら、さらに物事が明らかになります。そういうことです。

B: そうですね、アミール、今やるべきことはアロンの祝福で私たちの時間を終えることだと思います。いつも、プログラムを締めくくるには素晴らしい方法です。私たち、アメリカのクリスチャンには、耳に心地よく響く言語があります。そして、あなたが話している時、あなたが何を言っているか分かっても、私たちにはその言葉が理解できないかもしれません。しかし、私は以前にもこのことを言いましたし、私たちが講演したいいくつかのカンファレンでも言いましたが、おそらく誰よりもあなたがヘブライ語でアロンの祝福を祈るのを聞いてきた私にとって、それはいつも感動的なことです。まさに私たちの魂に共鳴するのです。だから、今日はこれで話を締めくくるのが適切だと思います。

A: ええ、ただ、皆さんに思い出して欲しいのですが、あなたと私は、今年の7月と8月にカナダに行く予定です。ですから皆さん、これらのイベントに申し込むことをお忘れなく。画面にQRコードが表示されるので、それをスキャンしてください。ほぼ満席ですが、これらすべてのイベントが満員になれば嬉しいです。このQRコードを見てスキャンすると、バリー牧師と私のカナダのイベントが表示されます。今年の7月、7月末か8月初めだったと思います。そしてもちろん、今すぐアロンの祝福を祈りましょう。

B: *主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。* イエスの御名において。アーメン。

A: アーメン。

バリー牧師、ありがとうございます。ご視聴いただいた皆様、ありがとうございました。ぜひ、シェア、コメント、チャンネル登録して、できるだけ多くの人に転送してください。ありがとうございます。神の祝福がありますように。ガリラヤのシャローム、そして、確実に、南カリフォルニアからシャローム。

B: 南カリフォルニア。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル



ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>
